



日本の“宝島”あまくさ

ほんど

まちづくり協議会だより



今を変えよう、未来の本渡のために

秋も深まりつつあるこの頃になりました。7月のまちづくり協議会の総会で、引き続き会長をおおせつかりました。皆様のご協力、ご指導をよろしくお願いいたします。

本年は、1月の大雪、4月の熊本地震、追い打ちをかけるように豪雨、梅雨が明けたら猛暑の毎日、異常気象が続きます。海水温の上昇により沖縄のサンゴが危機にさらされているようです。私たちは地球環境にもっともって配慮した生活をしなければ取り返しのつかないことになるのではないかと考えます。

近頃、地方再生という言葉の影が薄くなってきました。人口の減少は避けて通れません。「人が減っても、仕組みを変え、暮らしの利便性と快適性を低下させることなく、だれもが暮らし続けられる社会的基盤を整えることはできると思います。地域や集落では「生き残り」などという小さなことを考えるのではなく、さらに発展の道を探るべきです。地に足の着いた取り組みで、雇用や仕事を生み出すことに力を注ぐべきです。補助金によって若者を呼び込むのではなく、住んでいる人が自ら変わっていくことが、地方創生に他なり

ません。地域に学校がなくなれば、若い世代の居住先として選ばれることは期待できないでしょう。』(藤波匠 人口減が地方を強くする)

日本チームを率いる外国人指導者がよく口にするのが、日本人の主体性のなさです。ラクビーの五郎丸歩選手も、日本代表に初めて招集されたころは「もっとこうしてくれたらいいのに」と環境や周囲の人のせいにするのが多かったという。転機になったのは、当時のヘッドコーチだった、ジョン・カーワン氏との問答だ、「お前は過去を変えられるか」に「NO」と答えた。「じゃあ未来は？」と聞かれて「YES」と答えると、すかさず「NO」と返ってきた。「今を変えない限り、未来は変わらないんだ」と。

まちづくりも同じではないでしょうか。どんなに素晴らしい計画、未来像を描いても、今足元を変えない限り地域の未来は変わりません。林修先生の言葉ではありませんが「いつやるか?今でしょう」

人が訪れる魅力あるふるさとづくりに皆様とともに取り組んでまいりたいと思います。皆様のお知恵とお力をお貸しください。



本渡まちづくり協議会
会長 中川竹治

Vol. 17

平成28(2016)年10月15日号

目次

- 会長あいさつ……………1
- 平成28年度事業計画・
収支予算など……………2~3
- 各地区振興会長、職員の紹介
……………4~5
- 各地区の話題……………6~7
- おしらせなど……………8



まちづくりは ひとづくり、 本渡地域のさらなる発展を目指す!

～平成28年度 第1回まちづくり協議会を開催～

平成28年度の事業計画・収支予算を審議

平成28年度の「第1回本渡まちづくり協議会」を7月1日、天草宝島国際交流会館ポルトで開催しました。平成27年度の事業実績・収支決算、監査報告や、平成28年度の事業計画・収支予算などについて審議され、いずれも原案のとおり承認されました。また、本年度は任期(2年)満了に伴う役員改選が行われ、会長に中川竹治氏(再任)、副会長に鬼塚邦照氏(新任)、監事に池邊哲夫氏(再任)と竹畑研一氏(新任)が満場一致で選任されました。

本会の「まちづくりは人づくり」という基本理念のもと、会議の中でも「人材育成」の重要性が再確認され、今年度も「人づくり」を中心とした事業を展開いたします。「まちづくり人材育成」「まちづくり研修」「協議会だより発行」などを継続して実施し、本年度は「まちづくり講演会」を実施します。

各事業の情報は、本紙や各地区振興会だよりなどでお知らせいたします。

各事業の紹介

まちづくり人材育成

まちづくり人材育成は、まちづくりを推進する人材の発掘と育成を目的として研修などを行うものです。本年度は、ふるさと応援寄附金を活用し、本会委員などを対象として講師を招いた地域リーダー養成のための講座を実施いたします。

まちづくり研修

まちづくり研修は、地域の特色を活かした取り組みを展開している団体や地域などを訪問し、それらの取り組みについて学び、意見を交換することで、気づきや発見を得て、まちづくりの参考としていただくことを目的に行う事業です。本年度は、本会委員などを対象として、日本有数の先進地を訪問する県外研修を1回実施いたします。

平成27年度 収支決算

収 入	
予算額	17,870,000円
○天草市交付金	16,686,000円
○参加者負担金	500,000円
○ふるさと応援寄附金	420,000円
○繰越金	249,668円
○雑入	14,332円

支 出	
決算額	17,410,052円
○運営費	78,488円
○事業費	2,346,896円
・まちづくり人材育成事業	(1,819,821円)
・まちづくり研修事業	(62,716円)
・フットパス研修事業	(58,558円)
・まちづくり発表会事業	(17,136円)
・協議会だより発行事業	(388,665円)
○地区振興会活動費	14,735,000円
※10地区振興会の活動費	
○次年度への繰越金	249,668円

平成28年度 収支予算

収 入	
予算額	17,870,000円
○天草市交付金	16,686,000円
○参加者負担金	500,000円
○ふるさと応援寄附金	420,000円
○繰越金	249,668円
○雑入	14,332円

支 出	
予算額	17,870,000円
○運営費	200,000円
○事業費	2,920,000円
・まちづくり人材育成事業	(420,000円)
・まちづくり研修事業	(1,850,000円)
・まちづくり講演会事業	(200,000円)
・協議会だより発行事業	(450,000円)
○地区振興会活動費	14,735,000円
※10地区振興会の活動費	
○予備費	15,000円

協議会だより発行

協議会だよりは、年2回本渡地域にお住まいの皆さんに配布しています。まちづくりに関する情報を、分かりやすくお伝えできる誌面にしたいと思っております。ご意見や要望などありましたら、本会事務局(ポルト・市まちづくり支援課)または各地区コミュニティセンターへお知らせください。

まちづくり講演会

まちづくり講演会は、本渡地域内の振興会が一堂に会し、地域の実情と課題を再認識するとともに、共通認識を深めることにより、地域のまちづくりのあり方を見出すことを目的として実施いたします。多くの皆さんにご参加いただき、本渡地域あるいは各地区のまちづくりについて考えていただくきっかけになればと

思います。ぜひ、ご友人やご近所の皆さんを誘ってご参加ください。

※本渡まちづくり協議会についての詳細は、本会事務局(ポルト・市まちづくり支援課) ☎06661へお尋ねください。



本渡まちづくり協議会委員 (敬称略)

役職	氏名	備考
会長	中川 竹治	地域づくり団体
副会長	鬼塚 邦照	楠浦地区振興会長
監事	池邊 哲夫	公募
"	竹畑 研一	公募 ※
委員	海江田雅靖	本渡南地区振興会長
"	鶴田 克幸	本渡北地区振興会長
"	河野 昇	亀場地区振興会長
"	菅原 一男	伊土地区振興会長
"	松本 明博	志柿地区振興会長
"	松岡 政幸	下浦地区振興会長
"	森 孝	本町地区振興会長 ※
"	原田 康秀	佐伊津地区振興会長 ※
"	松川 莞爾	宮地岳地区振興会長 ※
"	寺澤 静子	文化関係
"	浦川 至	体育関係
"	渡邊 弘樹	経済団体 ※
"	國武 裕子	観光関係
"	湯貴 秋男	産業関係
"	森下 千秋	高齢者福祉関係 ※
"	田口 珠代	子ども育成・青年団体

※は新任委員の皆さまです。

地区振興会会長・職員紹介

志柿

○会長 松本 明博 (平成26年4月～)
会長を引き受けて3年になります。志柿地区は他地区と異なり志柿小学校、瀬戸小学校と2校あり、平成30年度には本渡東小学校と統合します。志柿地区振興会の子ども育成部会は、下浦地区振興会と話し合いを行い、将来を担う子供たちの健やかな成長に手助け出来るよう頑張っていきたいと思っています。

○職員 石原 ひろみ (平成25年4月～)
まちの皆さんの気持ちになって、担当事業の内容面・運営面を充実・向上するよう目指します。私にとって大変な仕事ですが、地区振興会発展のため微力ながらできる範囲で尽力して参ります。

○職員 鳥羽瀬 和代 (平成25年4月～)
志柿地区は、現在2校小学校がありますが、統合することになり少子高齢化が進んでいます。その中で、現在の地区の事業を維持し盛り上げ、まちの活性化に少しでも役に立てればと思っています。



鳥羽瀬 和代 松本 明博 石原 ひろみ

コミュニティセンターの管理運営や地域づくり活動のため、日々、汗を流している各地区振興会の会長・職員の皆さんをご紹介します。

皆さん、さまざまな業務に奮闘中です。

地域の皆さんは、温かい目で見守っていただくとともに、地域の行事にも積極的に参加・協力していただければと思います。また、コミュニティセンターにもお気軽にお立ち寄りください。



※会長さん、職員さんより地区振興会活動に対する思いを語っていただきました！

本渡南

○会長 海江田 雅靖 (平成18年4月～)
振興会発足以来、会長として地区住民の皆さんとともに、「住民皆でつくる安全、安心なまち」を目指してやってきましたが、思うようにはいかないもので反省することばかりです。これからも住民の皆さん目線で仕事をしたいかねばと思っています。

○職員 久保 博司 (平成26年4月～)
今年度3年目で、コミセンの施設管理や振興会各種事業を通じて地域の様子が変わってきたところです。その中でも各区長さんには各種活動において大変お世話になっております。今後ともよろしくお願い致します。

○職員 有馬 眞水 (平成28年4月～)
今年度4月から短時間勤務にて地区振興会に採用されました。まだ不慣れな点も多々ありますが、少しでも早く地域の皆さんのお役にたてるような仕事ができるように頑張りますのでよろしくお願い致します。



久保 博司 海江田 雅靖 有馬 眞水

佐伊津

○会長 原田 康秀 (平成28年4月～)
今年4月の佐伊津地区振興会総会において、会長に選出いただきました。任期中、第3期地区振興計画に基づき、これまでやってきた地域に根ざした事業を継承しながら、さらに発展させるため、地域住民が一体となり地域の活性化を図ってまいります。

○職員 中元 トシミ (平成25年4月～)
佐伊津地区振興会に採用いただいて、約3年半になりますが、仕事の大変さで、毎日悩んでいます。地区振興会活動で住民の皆さんが笑顔で暮らせ、生きがいのあるまちになればと思います。



原田 康秀 中元 トシミ

下浦

○会長 松岡 政幸 (平成27年4月～)
下浦地区振興会は、「獅子が舞う石工とぼんかんの里」を基盤に、各事業を各部会で話し合い、活動に取り組んでいます。人口減少が進む中で、果樹・石工・漁業者の生産年齢の高齢化にどう対処したら良いのか、日々考えています。町民の視線が注がれる取り組みを進めて行きたいです。

○職員 金子 賀寿彦 (平成25年4月～)
年間を通して振興会事業の予定を確認すると、たくさんの事業を行っていると感じています。各事業、会議から開催当日までドタバタと取り組み、終わるとホッと一安心します。疲労感もありますが、達成感もひとしおです！



金子 賀寿彦 松岡 政幸

栢宇土

○会長 菅原 一男 (平成27年7月～)
人生とは、人との出会いの積み重ねだと思います。人との繋がりの中で親睦を深め、真剣に未来をみつめ、考え行動する事が人生を豊かなものにし、また、豊かなまちづくりをして行く上での基本にもなると思います。人との出会いを大切に振興会活動を続けたいと思います。

○職員 山下 恵美 (平成25年4月～)
地域の皆さんや各団体長のご協力により成り立つ事業ばかりなので、今後もたくさんの皆さんに教えを乞い支えられながら、出来る事からコツコツと頑張っていきたいと思います。栢宇土ふるさとまつりへの出演・参加お待ちしております！



山下 恵美 菅原 一男

本渡北

○会長 鶴田 克幸 (平成25年4月～)
私たちの生活は、必ず地域の人々に支えられている部分が少なくないと思います。そこで、お互いが気持ちよく暮らしていくためには、温かい思いやりの心が不可欠でしょう。北地区では、見えないところで、人や社会をささえている誰かの力に気付いて、感謝する気持ちを持って欲しいと思っています。

○職員 富永 久美子 (平成25年4月～)
4年目を迎えている今、区長さんの役割や大変さも少し分かってきたように思います。また、各事業に関わっていただいている役員さんや地域の皆さんには、いつも助けられています。振興会の活動はそういった皆さんの協力があって一つの事業がやり遂げられています。仕事と家庭を両立しながら地域に寄り添っていくのは大変だと思います。無理しないで、自分のできる事をできるところでやっていけたらと私自身考えています。



富永 久美子 鶴田 克幸

宮地岳

○会長 松川 莞爾 (平成28年4月～)
豊かな緑の山々とそこを源流とする清らかな水に恵まれ、祖先から受け継いだ郷土の環境をさらに守り育て、後世に譲り渡すことを念頭に、安全・安心を推進するため、地域の皆さんの生の声をお聞きし、ともに考え、ともに歩みたいと思います。

○職員 吉田 直美 (平成25年4月～)
地区振興会職員となり早いもので4年目に突入しました。コミュニティセンターの管理運営、各振興会事業の準備から本番、部会ごとの会議資料作成など、日々の仕事に追われながらも地域の皆さんに助けていただきながら現在に至っています。高齢化が進んでいる宮地岳町。少ない人口ながらもできる事業を積極的に進めていきたいと考えております。今度とも協力よろしくお願い致します。

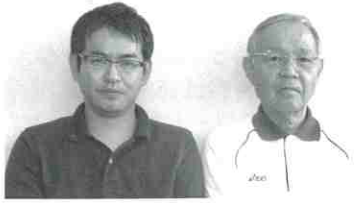


松川 莞爾 吉田 直美

楠浦

○会長 鬼塚 邦照 (平成18年4月～)
楠浦町には、豊かな自然の中で育まれた伝統文化や文化遺産など、素晴らしい地域資源が数多くあります。「ずっと住みたい楠浦づくり」をテーマに、皆で地域資源を生かし、魅力と活力のあるまちづくりを目指したいと思っています。

○職員 中田 泰志 (平成27年4月～)
地区振興会の事業を通して多くの町民のみなさんの親睦・融和が深められています。今後も、誰もが楽しみながら参加でき、楠浦に住んでよかったと思えるまちづくりを全力でサポートをしたいと思っています。



中田 泰志 鬼塚 邦照

本町

○会長 森 孝 (平成28年4月～)
今年度から本町地区振興会会長に就任。66才です。本町地区の歴史と町民性を活かした地域活動で本町の発展と活性化が図れればと思っています。

○職員 錦戸 由香 (平成25年4月～)
平成25年度から本町地区振興会職員として勤務しています。2児の母親です。本町の町民の融和につながるよう毎日孤軍奮闘しています。



森 孝 錦戸 由香

亀場

○会長 河野 昇 (平成27年4月～)
昨年の4月に亀場地区振興会会長に就任いたしました。「元気で活気あふれる心豊かなまちづくり」を目標に地域の皆さんの防災への意識の向上など、安心で安全な地域づくりとともに、地区振興会活動も地域の皆さんとともに協力しながら、さらに充実したいと思っています。

○職員 井上 幸美 (平成28年4月～)
今年の4月から勤務しています。初めて経験する事業に戸惑うことも多いのですが、とりあえず事業をひとつひとつこなして、早く一人前になりたいと思っています。早く地域に慣れることが一番ですが、今まで振興会の事業に参加していなかった人も来れるような環境を作りたいと思っています。これまで地域の事業に携わってこられた先輩方のご意見を参考にしつつ、新しい風も吹き込めたらと思っています。



河野 昇 井上 幸美



『佐伊津町夏祭り』を開催!

佐伊津地区振興会 会長 原田 康秀

7月31日、いまや夏の定番となった佐伊津町夏祭り(第6回)を開催。当日は熱中症を心配するほどの快晴で、地区内外から900人を超える来場者があり、食べ物や遊びコーナーの出店のほか、地区住民の皆さんによるステージイベントなど、多くの催し物が大盛況でした。来年も趣向を凝らした内容で開催し、子どもからお年寄りまで多くの笑顔を咲かせたいと思います。

受け継がれる鈴木精神



▲ミニバレー選手権と鈴木精神

児童が郷土芸能伝承

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 邦照

楠浦小学校の児童たちが郷土芸能「楠浦の堀切唄」を伝承するため、三味線の特訓をしています。今年1月、牛深総合センターで開かれた天草子ども芸術祭に6年生が出演。三味線の伴奏が好評であったので、同小学校は地域の協賛などを得て三味線を3棹調達。新6年生は、11月に開かれる楠浦町ふれあいフェスタに向け練習に励んでいます。



▶天草子ども芸術祭の様子

わんぱ〜く 田植え・稲刈り体験!

宮地岳地区振興会 会長 松川 莞爾

宮地岳わんぱ〜く児童館の子どもたちが4月に田植えを行い4ヶ月が経過。順調に実った稲穂を8月21日宮農組合の皆さんのご指導のもと、子どもたちは真夏の暑さにも負けず、手刈りと機械刈りで収穫しました。できたお米は敬老会や料理教室などでいただきます。宮地岳ではこういった自然体験を生かしながら、子どもたちの健やかな成長を見守り続けていきたいと思っています。



▶子どもたちによる田植えの様子

本町地区振興会 会長 森 孝

本町は鈴木精神「義を貫き 全力を尽くして 世のため 人のため 奉仕する愛の心」が脈々と受け継がれています。今年は鈴木精神ロゴが入ったTシャツを着用し「本町体協チーム」として、天草市杯一般ミニバレーボール選手権大会に参加しましたが惜しくも予選敗退。来年度へ向け翌週から練習を再開しています。



▶ファミリースポーツ大会の様子

夏には楽しい思い出を
〜ファミリースポーツ大会〜

下浦地区振興会 会長 松岡 政幸

夏休みになると、青少年支援部会による小学生を対象とした夏イベントが始まります。その中で「生物調査勉強会」「おもしろ劇場」と並んで盛り上がりを見せるのが、「ファミリースポーツ大会」です。親子でチームを組んでドッジボール大会を行い、5チーム51人の小学生たちが熱戦を繰り広げました。競技終了後のじゃんけん大会はさらに盛り上がりを見せ、悲喜こもごもの叫び声が体育館に響き渡りました。下級生から上級生まで、体格差はあれど一緒に楽しくゲームをする様子は、見ている人たちにも元気を分け与えてくれるものでした。今後の下浦町を担う若い力の成長を、地区全体で大事に見守っていきたくと思っています。

各地区の話題

親子ナイタードッジボール大会を開催しました

本渡南地区振興会 会長 海江田 雅晴

8月19日午後7時から天草市民センター体育館において、今年度で第22回となる本渡南地区親子ナイタードッジボール大会を開催しました。

今年は6チーム81名の児童と34名の保護者に参加いただき、小学1年生から6年生までの子どもたちと保護者の方は、A・Bパートに分かれて親子ドッジボールを楽しみました。

決勝は予選リーグ、準決勝を勝ち抜いた古川上町子ども会と山口ファイターズという昨年度と同じカードとなりました。熱戦の結果、山口ファイターズがみごと優勝し昨年の雪辱を果たしました。



▶ナイタードッジボールの様子

ジャガイモ 植えたよ!

子どもたちの健全育成と思い出づくりを目的に、青少年育成部会が主管となり、アグリチャレンジ(親子の農業体験と食育推進事業)として実施しています。昨年はカライモを作りましたが、今年は8月にジャガイモを植えました。12月に収穫・調理する予定です。参加した子どもたちには、ジャガイモの種芋の植え付けから収穫・調理までの一連の作業を体験することで、農業の大変さ、食べ物の大切さ、協力する喜びを経験してもらうことを目的としています。

今後も亀場町で育つ「亀っ子」たちに年中行事、地域行事を伝えるとともに、大人と子どもの交流の場をつくり、安心して生活できる環境づくりを目指します。

亀場地区振興会 会長 河野 昇



▲子どもたちによるジャガイモ植え付けの様子

お茶屋さんで職場体験!

柵宇土地区振興会 会長 菅原 一男

柵宇土町の井上製茶(創業明治41年)において、稜南中学校から2年生男子3名が3日間職場体験をしました。お茶袋に3,600枚のシールを貼る作業やパック詰め、お茶畑や製造工程を見学。また、みんな来店されたお客様へ元氣よく応対し、販売なども手伝いました。この職場体験で培った経験を忘れずに今後活かして頑張りたいと思います。



▶お茶のパック詰めの様子

夏休み、思い出の料理教室!

志柿地区振興会 会長 松本 明博

7月30日に今年度から始めた、福祉生活部会(食生活改善推進員主管)の新規事業「親子料理教室」を開催しました。

当日は親子6組13名が参加。「食育5つの力」の勉強をした後、食改さん4名の指導のもと、おにぎらず・鶏肉のトマトクリーム煮・ごぼうのごま風味サラダを調理しました。

子どもたちは、ぶきっちょな手つきで包丁を持ち、悪戦苦闘しながらも楽しそうに頑張っていました。自分で作った料理は大変美味しくできあがり、次回の教室も楽しみにしていました。

ほんどのいま

平成28年9月1日現在
(H28. 3. 1との比較)

【本渡南】 男.....4,105人 (- 59)
女.....4,795人 (- 46)
計.....8,900人 (-105)
世帯数.....3,916 (- 12)
高齢化率.....30.7%

【本渡北】 男.....5,299人 (+ 7)
女.....5,788人 (- 6)
計.....11,087人 (+ 1)
世帯数.....4,731 (+ 59)
高齢化率.....22.4%

【亀場】 男.....2,047人 (+ 9)
女.....2,359人 (+ 14)
計.....4,406人 (+ 23)
世帯数.....1,806 (+ 21)
高齢化率.....22.4%

【柙宇土】 男.....328人 (- 10)
女.....338人 (- 9)
計.....666人 (- 19)
世帯数.....270 (- 1)
高齢化率.....41.4%

【志柿】 男.....1,366人 (- 28)
女.....1,602人 (- 31)
計.....2,968人 (- 59)
世帯数.....1,249 (- 12)
高齢化率.....29.8%

【下浦】 男.....842人 (- 17)
女.....977人 (+ 3)
計.....1,819人 (- 14)
世帯数.....784 (+ 5)
高齢化率.....42.5%

【楠浦】 男.....1,168人 (- 7)
女.....1,309人 (- 10)
計.....2,477人 (- 17)
世帯数.....1,014 (+ 3)
高齢化率.....34.5%

【本町】 男.....880人 (- 19)
女.....945人 (- 26)
計.....1,825人 (- 45)
世帯数.....845 (- 10)
高齢化率.....35.5%

【佐伊津】 男.....1,576人 (- 13)
女.....1,764人 (- 21)
計.....3,340人 (- 34)
世帯数.....1,436 (+ 11)
高齢化率.....34.2%

【宮地岳】 男.....267人 (- 7)
女.....273人 (- 7)
計.....540人 (- 14)
世帯数.....256 (- 2)
高齢化率.....48.5%

【合計】 男.....17,878人 (-144)
女.....20,150人 (-139)
計.....38,028人 (-283)
世帯数.....16,307 (+ 62)
高齢化率.....29.1%

善意の寄附

ありがとうございました (敬称略)

[平成 28 年 2 月~平成 28 年 8 月 本渡まちづくり協議会受領分]

〇ふるさと応援寄附金として

松多 辰尚 (東京都)	窪田 光男 (大阪府)
福田 良治 (東京都)	箱田 美菜 (福岡県)
白石 克寛 (福島県)	宮崎 宏 (愛知県)
中田 健二 (北海道)	富永 浩司 (東京都)
竹崎 英一 (広島県)	平川 賢治 (北海道)
竹川 玲子 (静岡県)	河村 久幸 (熊本県)
小林 正己 (福岡県)	山王株式会社 (熊本県)

※その他、7名の方々にご寄附をいただきました。

? 「ふるさと納税」って?

名称に「納税」とありますが、新たに税金を納めるものではなく、正確には市区町村や都道府県などの地方自治体への寄附のことを言います。出身地や応援したい自治体へ寄附することで、寄附者が住む自治体に納める住民税などの軽減が受けられるため、実質的に自分が納める税の一部を応援したい自治体へ移すようなイメージになります。

天草市では、名称を「天草市ふるさと応援寄附金」として寄附を受け付けています。



「ふるさと納税」で、天草本渡のまちづくりを応援してください。応援したいまちづくり協議会または地区振興会を指定できます。

市外にお住まいのお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ご周知くださいますようお願いいたします。

■編集・発行 本渡まちづくり協議会

【事務局】
天草市 地域振興部
まちづくり支援課
〒863-0023
熊本県天草市中央新町15番7号
TEL 0969-32-6661
FAX 0969-23-1999
E-mail machidukuri@city.amakusa.lg.jp

▼4月に起こった熊本地震、本
当に怖く、初めて命の危険さ
を感じました。また、今年は、大
雪、大雨、猛暑と大変な年とな
りました。特に地震はいつ起
るか分からないので、我が家
でも災害グッズを備えること
しました。これで安心とはいき
ませんが、せめて家庭だけは「想
定内」の平和な一年で過ごした
いですね。

▼先日、「高野誠鮮」さんが天
草へ来て講演をされるというこ
とで聴いてきました。、とにか
く、型にはまらない、その行動
力に驚かされました。「失敗」と
「成功」は紙一重、するとな
いは雲泥の差。本渡の皆さん一
人ひとりが、どんな些細なこと
からでも行動を起こしていけば、
さつと世界に誇れる「本渡」に
なると思いました。

【演】

編集後記